町報
きょなん

発行　鋸南町役場
編集　総務企画課
２９９－２１９２
千葉県安房郡鋸南町下佐久間３４５８
電話　０４７０－５５－２１１１（代）
毎月　１回
第４６０号

11
2006

鋸南中学校



勝山幼小



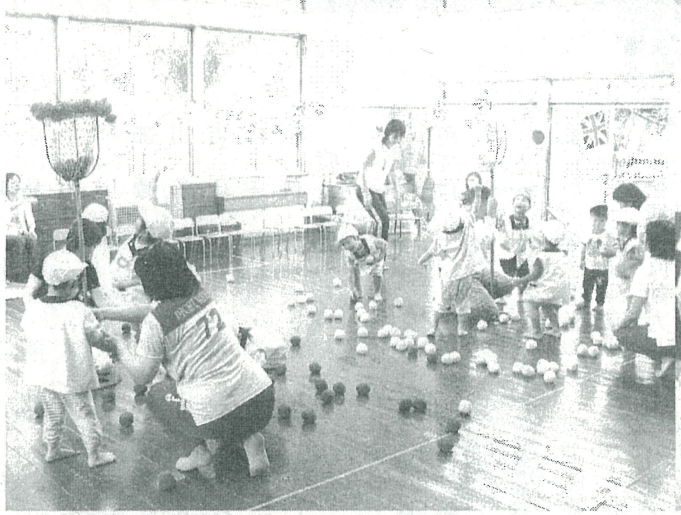
保田幼小



佐久間幼小



保田保育所



勝山保育所



各地区で秋の大運動会を開催

スポーツの秋を迎え町内小中学校、幼稚園、保育所で秋の大運動会が開催されました。勝山、保田保育所は雨のため、室内での開催となりましたが、運動会当日は子どもたちの元気な声とお父さん、お母さんの応援の声が校庭に響き渡っていました。

保健事業で厚生労働大臣表彰受賞

保健事業の推進、創意工夫により成果をあげている団体に贈られる厚生労働大臣表彰。表彰式では、日本全国の市町村のうち１５市町村と２団体が厚生労働大臣表彰を受賞しました。町では、健康診査の推進への取り組みとして、基本健康診査において受診率向上のため、身近な場所を診査会場とし、住民の利便性を図り、平成１０年度からは骨密度検診、平成１１年度からは前立腺がん検査やＣ型肝炎検査を実施するなど、検査項目の充実を図ってきました。

また、町民への健康づくりの大切さを喚起するため、健康イベント【健康まつり】を大々的に開催し、町と保健推進員の手作りのシナリオで人形劇を実演したり、食生活改善協議会の体脂肪測定、減塩味噌汁の試飲等町民一体となった活動を永続させているなど、積極的に保健事業に取り組みその成果は顕著であり、今後とも保健事業の推進が大きく期待され、他市町村の模範になることから、今回の厚生労働大臣表彰の受賞となりました。



喜びの受賞

祝結婚５０周年おめでとうございます



金婚式を迎えられた１７組のご夫婦

結婚50周年を迎えられた方々（敬称略）

須田　謙・八千代（下佐久間）
鈴木常三郎・愛子（岩井袋）
國井初美・菊枝（元名）
千葉保男・マス子（保田）
川名昭治・アツ子（江月）
久保田敬・澄江（竜島）
安藤伸・幸枝（吉浜）
石﨑　博・チヤ子（保田）
小島福太郎・勝枝（岩井袋）
中山徳義・すゑ子（小保田）
早川春治・眞琴（市井原）
加藤武司・幸子（下佐久間）
川名久夫・千枝子（市井原）
吉田　明・みつ（下佐久間）
山中茂雄・きん（竜島）
坂柳行夫・節子（下佐久間）
渡　正男・まさ子（勝山）

17組のご夫婦が金婚式を迎えられました

町では、去る9月27日保健福祉総合センター「すこやか」で今年金婚式を迎えられたご夫婦をお招きして結婚50周年記念祝賀会が開催されました。記念撮影のあと、主催者の白石町長から「第一次経済成長期の中で結婚され今日の日本の発展の原動力としてご尽力されました。今後はお二人で健康に留意され充実した毎日をお過ごしいただき、人生の大先輩としてお力をお貸し下さるようにお願いします」との挨拶がありました。

この後出席者を代表して、久保田　敬さんから「ここまで連れ添った女房に感謝しこれからは恩返しのつもりで仲良く過ごしていく所存であります」と謝辞が述べられました。

アトラクションとして、岩井袋在住の井上信喜さんが駆けつけてくださり得意の落語を披露してくださいました。

出席された方から「けんかしながらも50年過ぎてきました。私たちのためにこのような会を開催して下さりありがとうございました。とてもうれしかった」と話しておられました。

長寿者に記念品贈呈

敬老の日記念行事として、白石町長が本年９０歳を迎えた方、及び１００歳以上の方々にお祝い品をお届けしました。今年は９０歳になられた方が３９名、１００歳以上の方が７名の計４６名の方々が対象で一軒ずつ訪問して手渡しました。

また、今年度１００歳になられた黒川茂さん（下佐久間）を９月１５日安房健康福祉センター長、白石町長他２名が訪問し、内閣総理大臣からのお祝い状と記念品（銀杯）をお届けしました。



今年度１００歳を迎える黒川茂さん

「見返り美人絵画コンクール」受賞者決定

小中学生による見返り美人絵画コンクールが、今年度も開かれ、小学校５校から１０９点、中学校５校から１０７点の作品の応募がありました。今回ははり絵や砂絵など素材にこった作品が多く目立ちました。厳正な審査の結果は、次のとおりです。

小学校の部、町長賞　吉本知正（保田小３年）、議会議長賞　池田圭佑（保田小６年）、角田潤也（保田小６年）、教育委員長賞　福坂絵里（勝山小５年）、田中茉友佳（勝山小５年）、審査員特別賞　柴山理澄（勝山小５年）、生貝美樹（勝山小５年）、佳作　柴本笑美（勝山小２年）、吉本すみれ（保田小６年）、早川将太（保田小６年）

中学校の部、町長賞　鈴木晶絵（木更津一中１年）、議会議長賞　下間果穂（君津中２年）、保坂夢望（木更津一中１年）、教育委員長賞　宇津木亜衣（鋸南中２年）、岡本結子（木更津一中１年）、審査員特別賞　羽山亮（木更津一中１年）、鈴木陽絵（木更津一中１年）、佳作　堀井遥菜（木更津一中１年）、石塚加奈子（木更津一中１年）、渡邊あずさ（鋸南中２年）。全応募作品は１１月１８日から１２月１４日まで中央公民館ロビーで展示されます。



小学生の部　吉本　知正さん



中学生の部　鈴木　晶絵さん

「岩崎巴人展」始まる

菱川師宣記念館で、10月18日から企画展「岩崎巴人　画僧巴人の禅画の世界」が始まりました。今回の展覧会は、巴人先生の軽妙な水墨画の掛軸、額絵はもちろん、インドやヨーロッパを旅した時のデッサンや油彩作品、また板や流木に描いたもの、団扇、扇子、短冊など多様な作品が並び、加えて、先生の秘蔵コレクションである中国や日本の禅僧、文人の貴重な書画も合わせて１５５点が展示されています。

初日には巴人先生が来館され、多くの巴人ファンでにぎわう会場で、一つ一つ作品を解説されていました。とかく難しく思われがちな禅の世界ですが、禅語に即して独特なタッチでおもしろく描かれた巴人先生の禅画に、皆引き込まれていました。

展覧会は12月24日まで。



資料館を訪れた巴人先生

保田・勝山・佐久間小学校で稲刈

総合学習の一環として植えたもち米の苗も実りの秋をむかえ、９月下旬に勝山・佐久間幼小学校で稲刈が行われました。田んぼの先生から説明を受けたあと、鎌を片手に昔ながらの刈り取り方法で行われ、徐々に作業に慣れると子供達から「稲刈りは楽しい」などの声が聞こえるようになり、自然の中で学ぶ喜びを実感していました。干した稲はこの後脱穀して、１１月の収穫祭で餅つきをして、収穫の喜びと共に「食欲の秋」を楽しみます。

保田小学校



勝山小学校



佐久間小学校



帝京平成大学が鋸南町で実習

帝京平成大学（市原市潤井戸）のヒューマンケア学部看護学科の学生が鋸南町保健福祉総合センター「すこやか」で地域看護の臨地実習を行いました。実習に訪れたのは三年生６名で、１０月１０日から１３日までの４日間、町内の民宿に宿泊し、「すこやか」に通いました。町民にインタビューしたり、家庭訪問や総合検診などに参加・見学することで地域看護の実際について学びました。１２日には「すこやか」で『運動教室夜の部』が午後７時から開催され、学生らは積極的に参加し、健康づくりを実践する町民とふれあうことができました。

同様の実習が１２月・１月にも計画されており、未来の「看護の専門家」育成の一翼を担っています。



運動教室に参加する学生たち

県スポーツ大会　勝山会　空手大活躍
田村典大選手２冠達成！

このほど県体育協会県スポーツ少年団主催による第９回千葉県スポーツ少年団空手道交流大会が県武道館にて行われ、鋸南町Ｂ＆Ｇ海洋センターに拠点を置く空手道勝山会が八面六臂の大活躍をしました。

特に勝山小学校２年生の田村　典大選手は形、組手の部共にダブル優勝し、最優秀選手賞に選ばれ、新鋭誕生となり、将来の大器と期待されています。

一方、スーパー空手コンの鈴木　航汰選手（保田小６年）は貫禄の３年連続の形チャンプとなり、他を寄せ付けない大差となりました。



入賞した勝山会の選手たち

ちびっこスイマー活躍！

『ＫＣＣキンダーフェスティバル』が鴨川のスイミングクラブで行われました。

８歳以下の選手だけで開催される珍しい大会で、県内から８０名の選手が出場しタイムを競いあいました。鋸南町Ｂ＆Ｇ海洋センターからは、４名の選手が参加し上位入賞を果たしました。

出場選手は以下のとおり

（写真右から）大浦　直繁（保田小１年）
２５ｍ自由形　１位・２５ｍ背泳ぎ　１位
児松　政宏（大山小１年）
２５ｍ自由形　２位・２５ｍ背泳ぎ　３位
福坂　夏実（勝山小２年）
２５ｍバタフライ　１位・２５ｍ平泳ぎ　２位
花井　沙樹（岩井小３年）
２５ｍ自由形　２位・２５ｍ背泳ぎ　４位



つなげよう声のネットワーク

声のバトンタッチ（56）

町民のみなさんの「声」をバトンタッチでつないで、友だちから友だちへ「声」のネットワークを広げていくコーナーです。
お尋ねする内容は、①仕事や趣味 ②最近心に感じた事やうれしかったこと ③町政に望むことなどです。次はあなたもネットワークの一員です。

①現在、歯科医院で主に歯科助手の仕事をしています。お年寄りから子供まで様々な患者さんの中には、歯医者が苦手という方がたくさんいるので、少しでも恐怖感や緊張感を和らげられるように、特に小さい子供には気を付けて接しています。
②高校を卒業して一度は鋸南町を離れました。戻ってきて二年ほど経ちますが、家族や友達、大事な人に囲まれて過ごせる事をとても嬉しく思います。それまでは感じなかった鋸南町の人々の暖かさ、鋸南町の心地良さを改めて実感する日々です。これからも今まで以上に楽しく過ごせていけたら、とても幸せなことだと思います。
③小学校の新築が決まったそうなので、新築とともに、鋸南町にも活気を取り戻して欲しいと思います。鋸南町に永住、移住したいと思われるような町づくりを目指して欲しいです。お年寄りや子供、若者が交流できる場所やイベントなどがあると良いと思います。



小早川　裕貴さん（内宿区・歯科助手）

次回は黒川　由樹子さん（田町区）へバトンタッチされます。



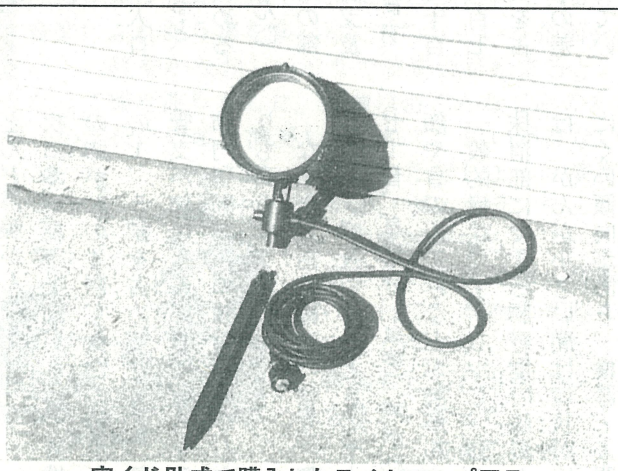
艫居　慎一さん（仁浜区・漁業）

次回は黒川　賢一さん（町　区）へバトンタッチされます。

①仁浜区に生まれ、仁浜区に育った、生粋の「かっちゃまっ子」です。若い頃は、大型サバ・サンマ漁船に乗り組んでいましたが、長男の誕生を機に独立し、現在は小型船で１人で漁に出ています。今は、旬の東京湾の黄金サバを毎日釣りに行っています。
②子供二人が勝山ファイターズでお世話になり、自分もコーチとして子供と共に野球を楽しんでいます。指導をしていて、子供達が日々成長していく姿を見るのは、何ものにも変えがたい感動を与えてもらっています。先日の「ろうきん旗」県大会でも感動のドラマを見せてもらい、いい思い出ができました。
③近年の過疎化、少子化に歯止めをかけるためにも、学童保育の充実化などにもっと町の力を注いでもらいたいと思っています。岩井袋野球場のナイター設備もストップされたままになっており、再開を心待ちにしている町民はたくさんいると思います。ぜひお願いいたします。

宝くじ助成で花木をライトアップ

花木による景観整備をすすめている当町では、植栽された花木をライトアップし、多くの人に楽しんでもらおうと、財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業補助金によりライトアップ用品を購入しました。この補助金は宝くじの普及広報を目的としたもので、購入された用品には補助事業のキャンペーンマークが描かれています。今後は花木のライトアップによる地域コミュニティの促進に活用されるものと期待されます。



宝くじ助成で購入したライトアップ用品

家庭教育通信 すくすく No.64

お手伝いのすすめ

今回は、子どもの「お手伝い」についてお話しいたします。

お子さんにお家の中で何か「お手伝い」をさせていますか。お家の人に聞くと「子どもに頼むと時間がかかるから、つい自分でしてしまう」ことが多いようです。自信を持たせる「お手伝い」をまず一週間に一度でもよいのです。決まったお手伝いをすることによって、子どもは家族の中で自分の役割を意識します。

これは、僕（私）の仕事という気持ちが育ちます。自分の能力・技術を使って「僕（私）もできるんだ」「家庭で役に立っているんだ」と、感じるようになります。

◎すぐできるお手伝いから始めましょう

・靴を揃える。
・新聞を取ってくる。
・食事に関すること。
（お茶碗・箸並べ、食器の片付けなど）
・部屋の整理。
・お風呂の掃除。
・弟や妹の世話など。

子どもにできるお手伝いはたくさんあります。時間がかかっても子どもにさせましょう。ここで一番大切なことは、**子どもが自分の仕事を忘れてしまっても代わりにやってしまわない**ということです。代わりにやってしまうと「自分の仕事」という意識が育ちません。

◎お手伝いの習慣をつけましょう

大きくなってからではなかなか大変です。小さな頃からお手伝いの習慣をつけましょう。

「今日はやりたくないなあ」「嫌だなあ」と、いやいやするお手伝いを毎日行うことで、忍耐を覚え家族の一員であることを自覚し、自分が役に立っている喜びがわきます。

◎感謝の気持ちを伝えましょう

お手伝いをしたときは、「嬉しいよ」「ありがとう。すごく助かったよ」と声に出して伝えることと、「テーブルがきれいになったね」「お風呂がピカピカで気持ちがいいよ」などと**子どもの頑張りを認めてあげる**ことも忘れずにしましょう。自分が役にたっていることがわかるとやる気が出ます。

毎日の生活の中で、手伝ってもらったときに「ありがとう」と言うと、とても嬉しそうな顔をします。そのうちに「お母さん、何か手伝うことってない？」と訊いてくるようになります。「嬉しい」と思うと同時に、言われて気持ちよくもなります。人の手伝いをすることで「家族の役にたっている。お母さんの嬉しそうな顔を見ると気持ちいいな。私にできることは他にないかな」などと思うようになると、自分から進んでお手伝いをする子になってくれるのではないかと思います。お手伝いは子どもを育てる大切なことです。どこのご家庭も日々忙しいと思いますが、お子さんにぜひ、お手伝いをさせてみてください。

教育委員会　生涯学習室
電話　55－2120

健康通信

「肺がん」

厚生労働省の「平成17年人口動態統計」の概況発表によると、日本人の死因のトップを占める悪性新生物（いわゆる“がん”）の割合は30．1％で、がんの部位別に見ると「気管、気管支及び肺」が一番多くなっています。性別に見ると男性が四万五千百八十九人女性が一万六千八百七十四人で、男性が7割以上を占めています。これは喫煙率の差が影響していると考えられています。

肺がんを分類すると、まず小細胞がんと非小細胞がんの二つに分けられます。そして非小細胞がんはさらに、腺がん・扁平上皮がん・大細胞がん・腺扁平上皮がんなどの組織型に分類します。肺がんが発生する場所や進行形式、症状などが多岐に渡るのは、肺がんに多くの異なる組織型があるためです。

腺がんは、もっとも発生頻度が高く、男性の肺がんの4割、女性の7割以上を占めています。通常のレントゲン写真で発見されやすい肺野型肺がんのほとんどが腺がんです。

次に多い扁平上皮がんは、男性の肺がんの4割、女性の肺がんの1．5割を占めています。気管支が肺に入る部分に発生する肺門型肺がんの頻度が腺がんよりも高くなります。

なかなか治りにくい咳や、胸の痛み、呼吸をするときのゼーゼー音、息切れ、血痰、声がれ、顔や首のむくみなどが肺がんの一般的症状です。しかし、肺の抹消部にできる肺野型の腺がんは、がんが小さい間は症状が出にくい傾向があり、検診・人間ドック・生活習慣病等他の病気の検査で見つかることが多くなっています。またほかのがん同様疲れやすい・食欲不振・体重減少などが現れることもあります。喫煙歴のある40歳以上の人で、前述の症状があれば注意が必要です。

肺がんの危険性を高めているのは圧倒的に喫煙です。喫煙習慣のある人は禁煙を、また大人になっても喫煙習慣のない社会をつくることが、肺がんの危険性を軽減する最大の方策です。

（保健福祉課　健康推進室）

資料館 歴史

●連載171

伊勢参り(10)

草津、沢渡、伊香保の湯巡り

善光寺に到着した泰輔一行、藤屋という宿に入り、そこで昼食後、昼の開帳を礼拝。本堂の下には、戒壇巡りといって参詣者が入る暗い穴があります。暗い通路を通り、極楽のお錠前にふれれば、極楽往生できるというものです。

さて、この日泊まった藤屋という宿は、毎晩三、四〇〇人の泊まり客があると聞き、信州の山中でこの繁盛ぶり、これも如来様のご利益か、と泰輔は驚いています。

十八日、善光寺を出立し、渋の湯治場で一泊。十九日、道険しくまだ雪の残る渋峠を越えます。ここが上州信州の境で、越えれば、多くの湯治客で賑わう関東一の湯治場、草津です。一行は市川安之丞という宿に宿泊。四日間逗留して、旅の疲れをいやしています。

草津は行基が開き、人々にその効能を教えたという湯治場で、源頼朝も狩りの途中、ここの温泉に入ったそうです。その御座の湯をはじめ、綿の湯、鷲の湯、滝の湯などの温泉を巡り、湯治客で賑わう揚弓場でも遊んで、すっかりくつろいだ一行は、二十三日、草津を出立。少し行って沢渡温泉にも三日逗留。

ここは草津より温泉が柔らかで、よく傷を治すといわれています。

二十五日、泰輔は、この地の西洋医師、福田宗禎を訪ねています。宗禎は、家業である旅館業と医師を兼業しており、高野長英を招き、蘭学の手ほどきを受けた人物で、のちに長英が幕府に追われた時、かくまったともいわれます。泰輔が、かねて聞き知っていた宗禎を訪ねると、大いに喜び、酒も出て、終日語り合いました。屋敷も広く、塾生七、八人が、西洋の原書を読んでいるようでした。

二十六日、沢渡を出立し、伊香保で一泊。ここは子授けの湯で有名です。

榛名山から中山道へ

二十七日、山道を登り榛名山へ。頂上にある榛名湖は、日照りの時、その水をいただけば雨が降るといわれ、諸国よりはるばる来て、水を竹筒に入れて持ち帰る風習があります。

一行は榛名山大権現を参詣。岩石うがち、清水したたり、冷々として物凄しと、泰輔の感想です。参道のかたわらの沢に滝の不動があります。実はこの30年ほど前、同じ元名村の名工、武田石翁が榛名山に登り、ここに滝口の龍を彫刻しています。それを知ってか知らずか、「伊勢詣」にはふれていません。

下る道すがら、右手を見れば、妙義山、碓氷峠、噴煙を上げる浅間山が空にそびえ、左手には二ツ嶽を背にし広々とした田野。その景色に魅了された泰輔は一首。

「左右高き山々見わたして　足より先に首のくたびれ」

さて、中山道に合流して高崎宿。ここより、道は平らかな砂道です。

二十八日、倉賀野宿。ここから日光へ行く道がありますが、普請中で参詣者は入れないという話を聞き、一行は断念しています。この日は熊谷宿の増田屋泊。

二十九日、鴻巣宿から浦和宿。六月一日、蕨宿で、古い知り合いの儒学生、蜷川清輔を訪ね、酒を酌み交わし語り合いました。彼はのちに洞谷と号し、飯野藩（富津市）保科公に仕えています。そして板橋宿を過ぎ、いよいよ江戸も間近です。（続く）



「噴煙を上げる浅間山」

生涯学習 みんなで学ぼう

「クァルテットエクセルシオがやってきた」



すてきな演奏にうっとり

10月21日公民館に弦楽四重奏団「クァルテット・エクセルシオ」がやってきました。この演奏団は南総文化ホールでの演奏会の前に約1週間、地域の公民館で演奏し、音楽にふれあう事を楽しんでもらうという企画を行っています。

メンバーの軽やかなおしゃべりで演奏会が始まると、4つの弦の響きが波動となって響き渡りました。楽曲は皆さんなじみのあるもので、最後には鋸南3小学校の校歌を演奏してくれて、思いがけない演奏にびっくりする人もいたでしょう。演奏の合間にはヴァイオリン、ヴィオラ、チェロの楽器の説明があり、弦楽器を知ることができました。

演奏会終了後には、楽器の体験コーナーも設けられて、本物の楽器にふれてみたり、音を出してみたりしました。

参加者たちは音楽とふれあう楽しいひとときを味わいました。

中央公民館　55－4151



楽器体験

わんぱく登場



琉貴くん　0歳4か月

〔馬賀俊之さん　第1子　本郷〕

皆さん初めまして。僕は生まれてから4分の1年が経過しました。おくびも座って好きな方を見られるし体重は生まれた時の二倍を越したんだよ。予防接種が始まって、人生の試練の幕開けを感じる今日この頃です。何もかも初めてづくしでわくわくしちゃうな。パパ、ママ、一緒にがんばっていこうね。

桜だより

～桜の移植～

町内のいたるところに植えられた桜ですが、様々な事由により、中には移植が必要になってきている箇所もあるようです。

桜の移植ですが、落葉後であれば根鉢（根と土が密着した状態で鉢をつくったもの）をつくらずに移植できます。つまり、先の方の根には土があまり付いていない状態でも活着させることができます。土が少ない分、掘り上げるときは軽いので根は長めに残すように掘ります。

具体的には、根の出方によって異なりますが、幹の根元を中心に半径30～40㎝位の円を書いて、その円に沿ってスコップで掘り込むくらいでよいでしょう。スコップを斜めに射し込みますと下の方の根も切れます。すべての根が切れて、持ち上げられるようになりましたら、根元付近には根が多いので土がよく付いていると思いますので、それは落とさずにゆっくりと移植先に運んで植え付けます。

植え付けるときには、前もって掘っておいた植え穴に根を入れ込み、掘り上げた土を埋め戻します。ほぼもとの地面の高さまで埋め戻しましたら、ホースで水を入れ、土がドロドロになって水が溢れるまで注ぎ込みます。こうしますと、水が引いた後、根に土が密着して細根の発生がよくなります。水が引きますと、埋め戻した土が下がりますので、さらに上に土を補います。

移植後は、根が張っていませんので倒木の危険がありますので必ず支柱をお願いします。

なお、移植の際には木の向きも枝振りをよく観察し、後々の成長方向を予測しながら、決めて下さい。



掘り返しの様子

B&G NEWS

◆温水プール開館時間
１０：００～２１：００
※12時～13時・17時～18時は休憩
◆休館日　月曜日
◆プール利用料金
（町民）小中学生　２００円
一般　４００円
※　幼児は無料

≪鋸南町Ｂ＆Ｇ水泳教室発表会≫

鋸南町 B&G 海洋センターでは、日ごろ水泳教室に参加し練習を重ねている子ども達の成果披露の場として、水泳教室発表会を実施しています。

幼稚園児から選手コースまでの子ども達が一生懸命に泳ぎますので、ぜひ見学・応援にいらしてください。

日　時：平成１８年１１月１８日（土）
９：３０～　開会式　９：４５～競技開始
◇問い合わせ　鋸南町Ｂ＆Ｇ海洋センター　55－4411

あの子もこの子もきょなんの子

（9月25日から10月24日迄の届出分）
おめでとう！

名前	生年月日	両親の名前	地区	わが子へのメッセージ
☆篠宮　尊（たける）くん	平成１８年　９月２０日	真　樹・恵美子さん（第１子）	芝　台	元気で明るい子になってね。
☆渡　小枝（さえ）ちゃん	平成１８年　９月２８日	政　彦・小　牧さん（第１子）	町	明るく元気な子に育って欲しい。
☆池田　帆香（ほのか）ちゃん	平成１８年１０月１４日	和　博・貴　子さん（第２子）	本　郷	明るく優しい子に育ってね。

写真さしあげます。

広報に掲載した写真をさしあげます。
一部希望に添えない場合もあります
◇総務企画課広報担当
℡55－4801

人の動き・・・・・

世帯数	３，７５８世帯	（△１）
人口	９，８７８人	（△１２）
うち男	４，７４９人	（△１２）
女	５，１２９人	（０）

１０月１日現在（前月比）

善意の寄付

次の方から町へ善意のご寄付がありました。

岩﨑　たけさん（中尾原）　５００，０００円
消防費寄付金

亀田酒造（株）代表取締役
亀田　雄司さん（鴨川市）　１６０，０００円
美術品取得基金

平嶋　政男さん（白　銀）　１３，５００円
景観整備寄付金